

第6号

ほっとほへむ

<発行> 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷺学園 ☎ 072-953-3881 FAX 072-953-3882
 <発行責任者> 園長 瀬川 佳成 Eメールアドレス takawashi@miracle.ocn.ne.jp
 〒583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号

高鷺学園ソフトボール 3年振りに見事優勝!

今年の夏は、とても暑かったと誰もが口にする中、8月28日に河内地区児童福祉施設交流ソフトボール大会が行われました。

高鷺学園は、ソフトボールをしたいという子どもが多く、A・Bと2チームに分かれての参加となりました。Aチームの初戦は、練習試合では勝っているチームだったが、初戦ということもあってみんな緊張しており、同点のまま延長戦でなんとか勝利を収めることができました。その後はいつもプレーも出てきて、勝利し決勝にコマを進めることができました。Bチームの初戦は、高校生の活躍が光りチーム全員で声を掛け合い大差で勝利をつかみました。次、勝てば決勝というところで惜しくも同点となり、延長戦の末、惜しくも敗れ、3位決定戦に回ることになりました。その時、「お前のせいや」と責めることなく、次頑張ろうと前向きな考えになっていたのが3位を勝ち取つて決勝戦を応援に来たメンバーの表情から感じることができました。

Aチームは、高校生を中心に落ち着いたチーム作りとつなぎの野球が出来たと思います。なにより、自分におごらず、小学生のミスを「ごめん。おれのせいや」とかいります中学生、「気にするな、俺なんか

もつとミスする」と笑いながらチームの雰囲気を盛り上げてくれた高校生、そのメンバーに支えられ最後までよくがんばってプレーした小学生。今年のAチームは、今までのチームより実力が劣っていても、チームワークは最高でした。

Aチームの決勝戦は相手もBチームを降し決勝まで勝ち上がってきたチームだけあって試合は最終回まで緊迫するものとなりました。相手も優勝したいんです。勝ちを急いだわけでもなく、集中が途切れたわけでもなかつたのですが、1つのプレーで流れが変わることを改めて思い知らされました。

その思いのぶつかり合いの中、勝ちにこだわり、1人1人が最後の1プレーまでチームメイトをかばい、励まし合い、声を出し優勝を掴み取った時、選手も大人も「やった!!」と、今年のどの日の暑さより、熱い感情と喜びを感じることができたと思います。

(ソフトボール監督 岡出 多申)

「チームワークの大切さ」
キャプテンになり、暑い中の練習も皆に声をかけながら、することができました。
チームをまとめる大変さと、優勝という結果が残せ、チームワークの素晴らしいしさを学ぶことができました。
(キャプテン 高3男子)

優勝と3位という輝かしい結果を残した今年のソフトボールチーム



夏休みのこどもたち

とても暑い日々が続きましたが、子どもたちは暑さにも負けず、元気に過ごしていました。午前中は宿題に取りかかり、学校のプールにも参加し、午後は運動場で遊びました。ドッヂボール、キックベールス、サッカーそしてソフトボール等々。職員の体力がついていくのがやっとでした。

夏休みの恒例と言えば、ラジオ体操です。毎朝決まった時間から行いました。小学生と中高生の一

部の子どもたちが参加しました。一回も休まず参加できた子どもたちには、各自治会で表彰しました。中高生は学校のクラブを主に頑張っていました。朝早くから自分で起きて朝練に行き、各クラブが試合に向けて悔いのない活動をしていたと思います。高校3年生は進路活動があり、何度も登校する子もいました。

学園の行事で夏期合宿があり、龍神方面の廃校を利用して行いました。川遊びや高鷲大運動会も行いました。バーベキューもしたり温泉にも入つたりと思い出に残つたことだろうと思います。

お盆行事では、主に帰宅できないう子を対象に各フロアで、行き先や形態は違いますが映画やブルに行つて楽しみました。

夏休みも残り少なくなる頃、小学校の各学年の先生方が3回に分けて来園され、子どもたちの様子や、宿題の残りを一緒に見て下さいました。

部の子どもたちが参加しました。一回も休まず参加できた子どもたちには、各自治会で表彰しました。中高生は学校のクラブを主に頑張っていました。朝早くから自分で起きて朝練に行き、各クラブが試合に向けて悔いのない活動をしていました。高校3年生は進路活動があり、何度も登校する子もいました。

8月の22日から
24日にかけて、大
阪府の児童施設が
合同で行う「目で
見る自然教室」に
今年は学園から5
名が参加しました。
それぞれに良い経
験ができたようだ



でくれた子どもたち。「トマト赤くなつてる」「オクラ大きくなつた」と。少しづつですが収穫出来、野菜嫌いの子も「おいしい」と言つて食べていました。

長かった夏休みでしたが、大きな事故や怪我もなく、2学期も元気に通学することが出来ました。
(学童1Fブロック 上野 文豊)
幼児ブロックの夏休み
毎年、夏休みが始まり、7月末に夏風邪が流行りがちな幼児ブロックですが、今年は厳しい暑さにもかかわらず、少し体調不良の子が

7月末から和歌山県加太まで長児3名が2泊3日で夏季合宿へ行き、海で遊んだりして日焼けした清々しい顔で帰ってきたのが印象的でした。お盆や夏休み中に事情があつて家庭に帰省出来なかつた子達は、近所のお風呂屋さんへ行つたり、海に海水浴へ行つたりして楽しみ、夏を満喫しました。

(幼児ブロック 吉迫 宣俊)

でたのみで元気は過ごしました。
あまりにも暑いので、午前中の 10 時前後か夕方、少し暑さも和らいでいる時に外遊びをしました。水遊びやプールは子ども達も大喜びで、キヤツキヤツとはしやいでいました。また、幼稚園の園庭に初めて、オクラとミニトマトを植えて、毎日、水やりに励んでいました。





夏休みの出来事について子どもたちに文章を書いてもらつたので載せたいと思います。様々な経験を通して貴重な夏休みを過ごせたこと思います。

「樂しかったキャンプ」

8月6日～8月9日まで和歌山県の龍神中学校にキャンプに行きました。まずついてからごはんを食べて入所式をしました。その後部屋に行って片づけをして川に行きました。着いた時に向



3日目は高鷲大運動会を組でした。負けたのはすごい残念だけど障害物競争では上位だったのあまりく



いはなかった。その夜バーベキューをして、とてもおいしかったです。その後温泉に行き、とても気持ち良かったです。

4日目になつていよいよ帰る日に弁当を食べて、退所式をしました。それでバスに乗つて帰りました。とても楽しかったのでまた行きたいなと思いました。

(小学5年生 女子)

金剛の滝へ行きました。その時は雨で、少ししか、入れなかつたけど乐しかったです!!

私は余程のことがないとクラブを休むことは一度もなかつたけど、バレーに費やした時間は無駄じやなかつたと思います。結局最後は、良い結果じゃなかつたけど、三年間の達成感は大きく、バレーで学んだことをいろいろな事を学べたし、とっても楽しかったです。

(中学3年生 女子)

こう辺に渡りないと行けないので渡りました。少ししかわかつたです。

2日目はまずラジオ体そつをして、朝じはんを食べました。それからそ

うじをして川に行きました。中学生と一緒に川で浮輪をつけて流されま

した。夜に自炊があるので早めに帰ってきてごはんを作り、とつてもおいしかったです。

「事は、まず、1日目のハイキングでした。ハイキングでは、ほかの施設の子と、友達の「わ」を広げるために、いろいろなミッションが、ありました。約2時間半かかって、班のみんなで、協力してゴールしました。

次にオモシロかったのは、2日目の川遊びです。班のみんなで協力して、石をつみあげたり、魚とりをしました。それから、

顧問の先生には、毎日のように叱られ、上下関係で悩まれ、練習も厳しく、自分自身が嫌になつて逃げ出しちくなつた事はたくさんありました。でも、辛い練習を一緒に乗り越えてきた分、勝つ時の喜びは本当に大きかったです。辛いことばかりじゃなく、良いこともいっぱいあります。



私は、この夏バレー部を引退しました。バレー部での3年間は内容が濃く、自分の力になつたと思し大き成長できたと思

「自然教室に行つた事」

私たち小6は、ほかの施設との交流のため、田で見る自然教室に行きました。

その中で、楽しかった

私は、この夏バレー部を引退しました。バレー部での3年間は内容が濃く、自分の力になつたと思

「バレー部で学んだこと」

私は、この夏バレー部を引退しました。バレー部での3年間は内容が濃く、自分の力になつたと思

